文学部　地理学科（3 つのポリシー）

教育の理念

地理学科は、地域文化研究専攻と地域環境研究専攻の二つの専攻を置き、地域の文化や環境の本質についてフィールドワークなどをとおして理解し、人間と自然の関係について考え行動できる力を身につけ、広く社会に貢献できる人材の育成を教育の理念とする。

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

地理学科および地理学科に設置されている二つの専攻（地域文化研究専攻・地域環境研究専攻）は、地域の文化や環境の本質について、フィールドワークをとおして理解できる人材を育成する。この学習成果をもって、卒業後、交通・旅行業界、地図製作・測量業界、不動産関連業界、行政・教員、学術・研究などの分野において、実務の現場で活躍できる人材を輩出することを目標とする。具体的には、「学士（地理学)」を授与される学生は、以下のような能力を有する。

(DP1)本学の建学の理念を理解した上で、人間と自然の関係について考え、主体的に行動できる力を身につけていること。
(DP2)地理学的な調査・研究・発表に必要な倫理観を備えていること。
(DP3)フィールドワーク、観測、測量、統計分析、GIS など、地域の文化や環境の調査に必要な知識と分析能力を身につけていること。
(DP4)協働して地域を対象とした調査を行い、その結果に関する正確な文章表現ができること。
(DP5)専門知識を活かして、地域の課題を解決する実践力を修得していること。

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）と学習評価の観点のマトリクス表

◎：特に重点を置いている ○：重点を置いている			学修評価の観点											
			知識	理解	技能	思考力	判断力	表現力	関心	意欲	態度	主体性	多様性	協働性
卒業認定・学位授与の方針	DP1	主体的に行動できる力		○		○			◎	○	◎	◎		
	DP2	調査・研究の倫理観	○	◎			○		○		○		◎	
	DP3	文化や環境の分析力	◎		◎	○	◎							○
	DP4	コミュニケーションと文章表現の能力			○	◎		◎				○	○	◎
	DP5	専門分野の知識・技能の活用力			○			○	○	◎	○	◎		

※学習評価の観点は「学力の三要素」と「学習指導要領」に基づく。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

地理学科では、ディプロマ・ポリシーに示した目標を達成するために、以下の専門教育課程を編成して実施する。

1. 教育内容

1) 一年次は、地理学の対象と領域、見方・考え方について理解する。加えて、地図や地域統計を利用した基礎的な分析スキルを修得する。
2) 二年次は、地理学の学問的な要となる地図について学ぶ。また、地域文化や地域環境に関する専門的な知識と技術を学ぶ。
3) 三年次は、地理学の根幹であるフィールドワークを重視した野外調査実習を軸として発展的な学習を進める。また、測量やGISなど社会で有用なICT教育を含む高度な技術を身につける。
4) 四年次は、卒業論文の作成・執筆をとおして、高度な技術力と地域の課題を解決するための深い洞察力を持った専門知識人の育成を目指す。
5) グローバル化する社会に対応するために、海外での学習や体験を奨励し、積極的に支援する。

2. 教育方法

1) 一年次は、必修科目である「人文／自然地理学入門」と「人文／自然地理学実習」を配置し、導入教育を行う。加えて、基本的なICT教育も行う。
2) 二年次は、必修科目の「地図学」、および地域文化や地域環境に関する専門選択必修科目の講義および実習を広く配置する。また、実際に地域調査を体験するための「地域調査入門」も配置する。これらにより、専門的な知識と技術を修得することができる。
3) 三年次は、地域文化・地域環境研究専攻それぞれに「地域文化調査法／演習」「地域環境調査法／演習」を選択必修科目として配置し、実際の調査・研究をとおしてそれぞれの専門分野における知識および調査スキルなどをアクティブ・ラーニング形式で学ぶ。また、実習系専門科目を配置し、測量やGISなどに関する高度な技術を学ぶ。
4) 四年次は、必修科目として「地理学演習」を配置し、卒業論文執筆のための指導を行うとともに、地域の課題を解決するための能力の向上を図る。
5) 専門科目に「海外研究」を配置し、海外体験から学んだことを専門的な視点からレポートにまとめることにより単位として認定する。
6) 各年次において必修科目の単位が取得できていない学生に対して個別に学修指導を行う。

3. 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）と教育課程の編成・実施のマトリクス表

◎：特に重点を置いている。○：重点を置いている。

	科目群等	履修単位	配当学年	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	各科目群のねらい
全学共通科目	仏教と人間	4	1	◎					仏教の教えと禅の精神について理解を深め、宗教に対する正しい認識を身につける。
	新入生セミナー	2	1	○	○		◎		高校までの学びから大学での学びへの転換を図り、自立的で自主的な学習態度を身につける。
	キャリア教育	2	2			◎			社会的・職業的自立、社会・職業への円滑な移行に必要な力を身につける。
	実用英語教育	1	1～2				◎		状況に応じて「話すこと」「書くこと」に重点を置いた英語教育を行う。
	日本語リテラシー教育	2	1				◎		日本語の「読むこと」「書くこと」について社会人としての基礎的なレベルを身につける。
	ICT 教育	2	1			◎			ICT スキルおよび ICT リテラシーを身につける。
	人文・社会・自然・ライフデザイン分野	2～4	1～4		◎				多面的な知識と深い教養を体系的に身につける。
	外国語科目	1～2	1～2		◎		○		外国語について社会人に求められる十分なレベルを身につけ、異言語・異文化に対する多角的な理解と教養を深める。
	健康・スポーツ分野	1～2	1～4		◎		○		スポーツの実技能力や健康に関する理論を身につける。
専門教育科目	導入教育科目	4	1	○	◎	○			専門分野を学ぶために必要な基礎的な知識と方法を身につける。
	講義科目	2～4	2～4		○	◎		○	専門分野の知識を体系的に身につける。
	実験実習科目	1～2	1～4		◎	◎	○	○	専門分野での学びをより深めるための知識や技術を、実験と実習をとおして身につける。
	演習科目	4	3～4		○	◎	◎	◎	少人数クラスで指導教員や他の受講生と密なコミュニケーションを取りながら、発表や議論を行う。
	卒業論文	8	4		○	◎	◎	○	大学での学びの集大成として、自ら設定した研究テーマに関する論文を作成する。

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

地理学科は、駒澤大学及び文学部受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）に則り、以下のとおり入学者選抜を行います。

１．地理学科が求める学生像

（AP1）地理学科での学修に必要な基礎学力を身に付けている。受験科目に特化して勉強するのではなく、高等学校の教科・科目の広い範囲にわたって、知識・技能をよく身に付けている。〔知識、理解、技能〕

（AP2）本学が仏教の教えと禅の精神を建学の理念とする大学であることを理解している。地域の文化や環境に関心を持ち、入学後学んだ地理学の専門知識や技術を、積極的に社会に還元しようとする意欲がある。〔意欲、関心、態度〕

（AP3）地図・統計や野外観察などを通じて、地域の諸問題を客観的に判断することができる。分析結果をレポートやプレゼンテーション等により、分かりやすく表現することができる。〔思考力、判断力、表現力〕

（AP4）他者と協働して行う調査・研究において、他者の考えの多様性を尊重しながら、自分の意見を主張し、主体的に行動することができる。〔主体性、多様性、協働性〕

２．入学前に修得することが望ましい教科、取り組むべき活動や学習習慣

・高等学校における「地理」の知識
・幅広い読書
・日常の社会問題、環境問題に関心を持つ
・地図を見る習慣を身につける
・屋外に出て、いろいろなものを見る

３．求める学生像と入学者選抜方法のマトリクス表

◎：特に重点を置いている。○：重点を置いている。

入学制度		選抜方法	AP1	AP2	AP3	AP4	各入学制度のねらい
一般選抜	全学部統一日程	教科	◎		○		高等学校で修得した教科の理解度を重視し、特に知識や思考力に優れた学生の受け入れを目的とする。
	T 方式	教科	◎		○		
大学入学共通テスト利用選抜	前期	教科	◎		○		高等学校で修得した教科の理解度を重視し、特に知識や思考力に優れた学生の受け入れを目的とする。
自己推薦選抜	総合評価型	出願書類	○	○			本学の教育の理念を理解し、本学で学ぶ意欲が高く、学科の求める学生像と適合する学生の受け入れを目的とする。
		小論文	◎	○	◎	◎	
		面接・口頭試問	○	◎	◎	◎	
特別選抜	スポーツ推薦選抜	出願書類	○	○			スポーツ競技で高い能力を持ち、スポーツにおいて本学に貢献することのできる学生の受け入れを目的とする。競技部の部長の推薦を得られた者を対象として選考を行う。
		事前課題	◎		○		
		面接・口頭試問	○	◎	◎	◎	
	指定校推薦選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、本学で学ぶ意欲が高く、かつ学力・人物とも良好で他の学生の模範となる学生の受け入れを目的とする。高等学校長の推薦を得られた者を対象として選考を行う。
		面接・口頭試問	○	◎	◎	◎	
	附属高等学校等推薦選抜	出願書類	○	○			本学の教育の理念を特によく理解し、本学で学ぶ意欲が高く、かつ学力・人物とも良好で学内でリーダーシップを発揮できる学生の受け入れを目的とする。高等学校長の推薦を得られた者を対象として選考を行う。
		事前課題	◎		○		
	社会人特別選抜	出願書類	○	○			社会人に大学の門戸を開くことで、生涯を通じて学修に取り組める環境づくりに資する。また、社会経験を有する学生の受け入れにより、学内の活性化を図る。
		小論文	◎	○	◎	○	
		教科	○				
		面接・口頭試問	○	◎	◎	○	
	国際型選抜	出願書類	○	○			国際的感覚を身につけた、個性ある勉学意欲旺盛な学生の受け入れにより、学内の活性化を図る。
		事前課題	◎		○		
		面接・口頭試問	○	◎	◎	○	
	外国人留学生選抜	出願書類	○	○			国籍・文化的背景の異なる留学生の受け入れにより、学内の多様性を確保し活性化を図る。日本学生支援機構が行う「日本留学試験」の受験を出願条件とする。
		日本留学試験（成績）	○				
		筆記	○				
		面接・口頭試問	○	◎	◎	○	
	編入学者選抜	出願書類	○	○			大学入学後の進路変更や社会人の学び直しに対応し、学生の多様な将来設計を可能とする。また、多様な経験を有する学生受け入れにより、学内の活性化を図る。大学・短期大学・高等専門学校等を卒業した者や他大学在学中の者等を対象とする。
		筆記	◎				
		教科	◎				
		面接・口頭試問	○	◎	◎	◎	